

**大分記念病院 院外処方箋に記載されている検査値一覧
(基準値:2021年3月15日現在)**

略号	検査項目名	項目の説明	基準値	単位
WBC	白血球数	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。	3.3-8.6	10 ³ /μL
HGB	血色素量	赤血球中で酸素の運搬を担う蛋白質の量です。貧血や多血症を推測することができます。	男性：13.7-16.8 女性：11.6-14.8	g/dL
PLT	血小板数	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合に、その原因を探索するための検査の一つです。	158-348	10 ³ /μL
PT-INR	プロトロンビン時間（標準比）	血液の凝固能を示す検査値です。	0.9-1.1	
D-NEUT	好中球分画	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示します。	40-74	%
AST	アスパラギン酸アミノ酸トランスフェラーゼ	肝臓・心臓等の障害の指標です。	13-30	U/L
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	肝臓の障害の指標です。	男性：10-42 女性：7-23	U/L
T-Bil	総ビリルビン	黄疸の確認に用います。	0.4-1.5	mg/dL
推定CCr	推定クレアチンクリアランス	血清クレアチニン(CRE)から計算された腎機能の指標です。Cockcroft&Gaultの式で推定しています(*1)。		mL/min
推算GFR	推算糸球体濾過値	血清クレアチニンから計算された腎機能の指標です。体表面積1.73m ² あたりの値で示されています(*2)。	60-	mL/min/1.73m ²
CK	クレアチンキナーゼ	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。	男性：59-248 女性：41-153	U/L
CRP	C-反応性蛋白	炎症や組織障害の指標です。	0-0.14	mg/dL
尿酸	血清尿酸	肝臓で生成される代謝物の一つで、痛風・心血管障害等などのリスクとされています。	男性：3.7-7.8 女性：2.6-5.5	mg/dL
K	カリウム	電解質のバランスの指標です。神経伝達や筋伸縮等に関与しています。	3.6-4.8	mmol/L
Ca補	カルシウム補正值	電解質のバランスの指標です。骨の形成や筋収縮等に関与しています。低アルブミン血症の場合に補正を行った値で示されています。	8.8-10.1	mg/dL
P	リン	電解質のバランスの指標です。骨の形成等に関与しています。	2.7-4.6	mg/dL
Mg	マグネシウム	電解質のバランスの指標です。	1.7-2.6	mg/dL
空腹時血糖	空腹時血糖値	血糖コントロールの指標です。通常、早朝で検査当日の朝食を抜いた空腹の状態（10時間以上絶食）で測定した血糖値です。	73-109	mg/dL
HbA1c	糖化ヘモグロビン	血糖コントロールの指標です。	4.9-6.0	%(NGSP)

*1 : Cockcroft&Gaultの式 男性：CCr = (140-年齢)×体重/(72×CRE)
女性：CCr = 0.85×(140-年齢)×体重/(72×CRE)
*2 : eGFR推算式 男性：eGFR = 194×(年齢)^{-0.287}×(CRE)^{-1.094}
女性：eGFR = 0.739×194×(年齢)^{-0.287}×(CRE)^{-1.094}